



## 「個別の教育支援計画」の作成・活用が学校教育施行規則へ

全国特別支援学級設置学校長協会  
会長 山中ともえ



8月2～3日に、香川県教育委員会、高松市教育委員会、香川県特別支援学級設置学校長協会のお力添えにより、平成30年度全特協の第55回全国研究協議会香川大会を盛会のうちに終えることができました。「共生社会の形成に向けて 一人一人の教育的ニーズに応え 豊に生きる力を育む特別支援教育の推進と充実」を大会主題として、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 中村信一様からの行政説明、香川大学教育学部教授 坂井聡様から「通常学級の子どもたちに障害をどのように教えるか」と題した講演、3分科会に分かれた実践報告による協議会等、また、初めての試みとして、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所のご協力により「特別支援教育教材・支援機器展示会」を開催していただきました。猛暑の中、400人以上の方々が集まり、新学習指導要領への移行期に入った年として実りある大会となりました。

さて、平成30年8月27日の学校教育法施行規則の一部改正により、家庭と教育と福祉の一層の連携を推進する観点から、特別支援学校に在学する幼児児童生徒について個別の教育支援計画を作成することが規定されました。特別支援学級の児童生徒や通級による指導を受けている児童生徒についてもこの規定を準用することとされています。小学校や中学校の新学習指導要領においても、特別支援学級や通級による指導を受けている児童生徒に対して、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成することが必須として示されていますが、個別の教育支援計画については、さらに省令に規定されることとなりました。

さて、平成30年8月27日の学校教育法施行規則の一部改正により、家庭と教育と福祉の一層の連携を推進する観点から、特別支援学校に在学する幼児児童生徒について個別の教育支援計画を作成することが規定されました。特別支援学級の児童生徒や通級による指導を受けている児童生徒についてもこの規定を準用することとされています。小学校や中学校の新学習指導要領においても、特別支援学級や通級による指導を受けている児童生徒に対して、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成することが必須として示されていますが、個別の教育支援計画については、さらに省令に規定されることとなりました。

国においては、文部科学省と厚生労働省により、障害のある子供やその保護者に対して家庭・教育・福祉の連携を推進する「トライアングルプロジェクト」が進められています。今回の改正もその方策の一つです。各学校の校長は、障害のある子供一人一人の状態に応じて適切な指導や支援を受け、地域における切れ目ない支援体制の中で生き甲斐をもって生活し、自立していくことに繋がる学校経営が求められていきます。個別の教育支援計画を学校が中心となりながら関係機関と連携して作成し、学校だけではなく地域の支援体制の中でしっかりと育ち、自立して生活していけるようにしなければなりません。

本協会としましては、今年度も4月から、特別支援教育の実態把握のための全国調査の実施、平成31年度に向けた国への予算要望活動、文部科学省への特別支援学級や通級による指導の学習評価に関する意見書の提出、「トライアングルプロジェクト」に関する意見交換会への出席など、精力的に活動してまいりました。また、全国の実践を紹介する書籍や、特別支援学級と通級による指導の教育課程の充実に向けたハンドブックの刊行等も行っています。いずれも、全特協のホームページに掲載しておりますので、ぜひ、御覧ください。

増加する特別支援学級や通級による指導を担当する教員の専門性向上、障害のある子供に対する教育課程の充実、施設設備・教材等の環境整備、合理的配慮の周知と工夫、インクルーシブ教育システム構築のための障害者理解教育の推進など、多くの課題が山積しています。本協会は、全ての子供たちが輝く姿を目指し、特別支援教育を推進する立場の校長同士が互いに手を取り合い、一つ一つの課題を解決していくための場として、活動を一層充実させていきたいと存じます。皆様方の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 第55回 全国研究協議会 香川大会

香川大会実行委員長 大出 茂晴



平成30年度全国特別支援学級設置学校長協会第55回全国研究協議会香川大会は、平成30年8月2日（木）3日（金）に、香川県高松市のレクザムホールで開催されました。

大会主題を「共生社会の形成に向けて 一人一人の教育的ニーズに応え 豊かに生きる力を育む特別支援教育の推進と充実」とし、全国各地から400名を超える参加者を迎え、外の暑さに負けないほどの熱い研究協議が行われました。

山中ともえ会長をはじめとする本部役員の皆様、全国理事及び全国各地から御参会いただいた校長先生方のおかげで、無事に香川大会を終えることができ、心から感謝申し上げます。

以下、大会の概要について報告いたします。

### [1日目 8月2日（木）]

<行政説明> 「特別支援教育の動向、施策等について」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 中村 信一 様

- 1 多様な学びの場の整備
- 2 充実した校内支援体制の整備
- 3 切れ目ない支援体制の整備
- 4 共生社会に向けた資質・能力の育成
- 5 豊かな学習環境
- 6 その他

<講演> 「通常学級の子どもたちに障害をどのように教えるか  
—新しい障害観を子どもたちと共有する—」

香川大学教育学部 坂井 聡 教授

坂井教授は「参加、活動できないことが障害」という新しい障害観を共有することの大切さを、具体例を交えて話されました。環境を整えること、周りの人が障害にならないといった、助け合うことが目に見える学校づくりをしてほしいと力説されました。

[2日目 8月3日(金)]

<実践報告・研究協議>

**第1分科会 「特別支援教育の充実に向けた支援体制の構築と学校経営」**

実践報告1 「本人・保護者を中心に据えた学校全体で取り組むポジティブな支援体制の確立」

徳島県阿南市立福井小学校 濱田 健二 校長

実践報告2 「よりよい〈自分づくり〉に努める子どもの育成

一学び合う喜びを実感できる授業、居場所のある集団づくりを通して」

香川県高松市立木太小学校 片山 雅文 校長

この分科会では、共生社会の具体的なイメージを描きながら組織や制度を機能させること、また、どの子ども分かる・活躍する・学び合う場のある授業づくりや学校づくりの取組等が報告されました。また、共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システム構築のために特別支援教育が必要不可欠であることなどを指導していただきました。

**第2分科会 「関係機関との意図的な連携で進める特別支援教育」**

実践報告3 「関係機関につながる校内支援委員会の在り方」

高知県高知市立一宮小学校 福井 りか 校長

実践報告4 「夢をもってともに生きる力を支える特別支援教育

～校内外のネットワークを大切に～」

香川県宇多津町立宇多津北小学校 宮野 真也 校長

この分科会では、校内支援体制の見直しと再構築、巡回相談指導員・通級指導教室・医療機関等の関係機関と連携した校内支援体制整備等の取組が報告されました。グループ協議では、連携を充実させるための時間を生み出すことが難しい、校長として関係機関との連携を深めるためのシステムづくりが大切であるなどの意見が出されました。

**第3分科会 「教職員の意識改革及び指導力の向上をめざす校長の取組」**

実践報告5 「インクルーシブ教育システム構築のための校内体制づくり」

愛媛県松山市立三津浜中学校 久米 倫典 校長

実践報告6 「校務分掌組織を校内研修に生かし、意識改革と指導力の向上を図るチーム引田の特別支援教育」

香川県東かがわ市立引田小学校 坂東さゆり 副校長

この分科会では、全教職員の共通理解のもと、合理的配慮のある教育活動や小中連携等の推進・校内研修体制の充実による教職員の資質向上への取組等が報告されました。グループ協議では、専門的力をもつ人材の早期育成、関係機関との連携及び活用の必要性などの意見が出されました。

<全体会・全体講評>

全体会では、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官の田中裕一様から全体講評をいただいた後、閉会行事を行い、全日程が終了しました。

詳細につきましては、平成31年3月発行予定の全特協平成30年度研究紀要に掲載予定です。

平成30年度 全国特別支援学級設置学校長協会秋季研究協議会  
第35回 関東甲信越地区研究協議会 茨城大会

1. 研究主題 「学校における一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」
2. 期 日 平成30年11月9日(金) 10:00～16:00
3. 会 場 茨城県立県民文化センター  
〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 697 番地  
TEL: 029-241-1166 FAX: 029-291-4747
4. 日 程
  - (1) 開 会 行 事 10:00～10:30  
主催者挨拶 来賓挨拶
  - (2) 研 修 Ⅰ 10:30～12:00  
記念講演 「小中学校の授業実践と特別支援教育の体制づくり」  
講 師 茨城大学教育学部 准教授 新井 英靖 様
  - (3) 研 修 Ⅱ 13:00～15:00  
実践発表1 「子ども一人一人のニーズに応じた支援教育の推進」  
～「チーム大久保」の力を結集して～  
日立市立大久保小学校 大沢 靖司 校長  
実践発表2 「学びの連続性を重視した校内支援体制の構築」  
鹿嶋市立高松中学校 中田 信二 校長  
実践発表3 「学校における特別支援教育の充実を図る教育委員会の取組」  
取手市教育委員会指導課 富岡 富美 指導主事
  - (4) 講 師 指 導 15:15～15:45  
茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課  
指導担当課長補佐 鏑木 治 様
  - (5) 閉 会 行 事 15:45～16:00  
次期開催地区代表挨拶 千葉県 理事

☆参加費は無料です。多数の皆様の御参加をお待ちしております。大会参加申込締切日は9月7日でしたが、参加申込をされる方は大会事務局までご連絡ください。

※大会の詳細や申込用紙等は全特協のホームページにも掲載しております。

【大会事務局】茨城県下妻市立大形小学校 校長 宮田 真理子

〒304-0821 茨城県下妻市別府 199 番地

TEL 0296-44-2614 FAX 0296-44-2632

**平成30年度 第3回全国理事研究・研修協議会の御案内**

1. 期 日 平成31年1月24日(木)～25日(金)
2. 会 場 奈良県橿原市 橿原観光ホテル  
〒634-0063 奈良県橿原市久米町862  
TEL 0744-22-3235 FAX 0744-23-2098
3. 内 容 1日目 全国副会長研修会、全国理事会、全国理事研究・研修協議会  
ブロック会、顧問参与の会、懇談会  
2日目 教育施設視察研修 奈良県立高等養護学校
4. 参加申込 第二次案内と共に御案内いたします。  
今年度最後の「全国理事研究・研修協議会」となります。  
皆様方の御参加をお待ちしております。  
【大会事務局】奈良県生駒郡斑鳩町立斑鳩東小学校 校長 戸田 典克  
TEL 0745-74-1501 FAX 0745-74-4801